

## 軽井沢検定

### 取り組みに至る背景・事業の目的

町内外のより多くの方に国際的な観光地・避暑地である軽井沢の魅力を見直し、関心を高めてもらうよう軽井沢検定を実施することとした。

### 事業内容

- 軽井沢の自然・歴史・文化・建築・生物・文学などの知識の深さに応じて、上級・中級・初級レベルに相当する1・2・3級の検定制度を設け、1・2級の検定はそれぞれ2・3級の合格者が受験できることとした。
- 検定制度や検定試験となる軽井沢の情報を検討するため、東京学芸大学名誉教授の市川健夫氏を委員長とし、歴史・建築の専門家や地元の自然・文化・商工関係団体、行政関係者等で構成された検定テキスト編集委員会を10回開催し、300ページにわたる検定テキストブックを作成した。
- 平成22年2月20日に、第1回検定試験（3級）の検定を行った。また、試験前に、テキストブックを活用した検定勉強会を開催した。



【検定テキストブック】

### 事業効果

- 第1回検定試験には、町内外の20歳代から80歳代までの幅広い年代から多くの受験申し込みがあり（受験者284名（町内193名 町外91名）、241名が3級に合格した）。
- テキストブックは、軽井沢を知るためのガイドブックとして、受験者以外にも広く利用されている。



【受験状況】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 多くの受験を促すために、合格者には美術館・博物館施設を2年間無料で入館できるようにした。また、合格証も魅力あるものになるように軽井沢の風景写真を入れることにした。
- 年度内に検定を実施するため、検定テキストブックを短期間で制作しなければならなかった。特に、編集委員からの原稿提出後に開催した編集委員会では、全体のバランスや記述の整合性を図る確認作業に、予想していなかった多くの時間を要することとなった。
- 第2回検定試験（2・3級）を平成22年8月に実施した。  
2級：受験者82名・合格者39名      3級：受験者128名・合格者73名  
受験者合計210名（町内121名 町外89名）
- 第3回検定試験（1・2・3級）を平成23年に実施し、以降、毎年検定を実施することとしている。
- 2級以上の合格者には、軽井沢観光案内ボランティアガイドになっていただき、検定のために得た知識を発揮してもらう機会を設けていく。
- テキストブックは、中学生の地域学習に役立ててもらうため、平成22年から平成26年まで5年間にわたり新入生に寄贈することとした。



【合格証】

### 【選定のポイント】

テキストブックには、軽井沢に関する網羅的な情報が掲載されているほか、観光ガイドとしても利用可能なものとなっている。検定試験には、町内外から予想を上回る受験の申し込みがなされ、住民等の地域への理解が深まった。今後の制度の定着や観光振興への寄与が期待される。

団体名	一般社団法人軽井沢観光協会（軽井沢町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	事務局 電話 0267-41-3850	事業費	4,178,582円
ホームページ	<a href="http://karuizawa-kankokyokai.jp/">http://karuizawa-kankokyokai.jp/</a>	支援金額	1,416,000円